

あつぎ市議会だより

第241号 発行日/2018年 8 月 1 日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

6月定例会議

条例の改正や補正予算など10議案を可決

一般質問 安心安全・新庁舎建設などを論議

6月定例会議は、5月31日から6月22日までの会議期間23日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、固定資産評価審査委員会委員の選任や人権擁護委員の候補者の推薦のほか、条例の改正、工事請負契約の変更、一般会計補正予算の8議案です。このうち、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について（2件）」を除いた5議案は質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員22人が登壇し、一般質問が行われました。

第4日には、市長から「厚木市市税条例の一部を改正する条例について」の議案1件が追加提出

され、質疑の後、所管の常任委員会に付託されました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について（2件）」に対する質疑が行われ、採決の結果、同意しました。その後、各常任委員長からの審査結果報告、4会派などによる討論が行われ、採決の結果、可決しました。

さらに、議員から「神奈川県最低賃金改定等に関する意見書について」の議案1件が追加提出され、可決しました。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は3件です。

「厚木市職員定数条例」の主な改正内容は、消防力の強化に向けて、消防職員の定数を増員するため、改正するものです。

このほか、法律の一部改正に伴い、「厚木市後期高齢者医療に関する条例」「厚木市市税条例」を改正するものです。

工事契約の変更

可決した工事請負契約の変更議案は2件です。議案第50号の主な変更内容は、あさひ公園の地

補正予算

52号）について、国および県において3月に平成29年度公共工事設計労務単価が改定されたことに伴い、受注者と請負金額の変更協議を行った結果、工事請負契約の契約金額を「11億7534万2400円」から「11億9678万2560円」に変更するものです。

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、大規模災害時に、掘削に伴い発生する残土を固化材により改良する必要が生じたほか、国および県において3月に平成29年度公共工事設計労務単価が改定されたことに伴い、受注者と請負金額の変更協議を行った結果、工事請負契約の契約金額を「29億3383万8000円」から「30億9628万2240円」に変更するものです。

議案第51号の主な変更内容は、都市計画道路厚木環状3号線第1工区の工事に、29年10月に議決済みの契約（議案第

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。一般会計補正の主な歳出の内容は、大規模災害時に、掘削に伴い発生する残土を固化材により改良する必要が生じたほか、国および県において3月に平成29年度公共工事設計労務単価が改定されたことに伴い、受注者と請負金額の変更協議を行った結果、工事請負契約の契約金額を「29億3383万8000円」から「30億9628万2240円」に変更するものです。

議案第51号の主な変更内容は、都市計画道路厚木環状3号線第1工区の工事に、29年10月に議決済みの契約（議案第

在職10年の表彰

― 全国市議会議長会 ―

5月30日、東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会議員6人が議員在職10年として、全国市議会議長会会長から表彰されました。表彰を受けた議員は、次のとおりです。

越智 一久議員	栗山香代子議員	井上 武議員	名切 文梨議員	難波 達哉議員	松本 樹影議員
---------	---------	--------	---------	---------	---------

を追加配備するため、消防団消防車両維持管理事業費の増額や、自主防災隊の防災資機材などの整備に必要な経費の一部を補助するため、地域防災組織育成補助金の措置、郷土芸能を行う団体に対して、用具整備に係る経費の一部を補助するため、郷土芸能コミュニティ事業補助金を措置するものです。

人権擁護委員 2氏の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、2人の任期が満了することに伴い、横浜地方事務局長から後任委員の推薦依頼を受けた市長から意見を求められ、次の方々の推薦に賛成全員で同意しました。

◎三和田秀夫氏（山際 片倉 祐司氏（下依知

2面下段に続く

固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員3人のうち、加藤恵美子氏（中町）の任期が満了することに伴い、引き続き同氏を選任したいとの議案が市長から提

主な内容

- | | |
|--------------|------|
| ◆一般質問 | 2～6面 |
| ◆国などに提出した意見書 | 4面 |
| ◆政務活動費の会計報告 | 5面 |
| ◆委員会の審査 | 7面 |
| ◆本会議の審議結果 | 8面 |



今定例会議では、22人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたどしました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

愛甲石田駅周辺のまちづくりの考え方は

あつぎみらい 高橋 豊 議員



問 厚木市の南の玄関口として、愛甲石田駅の未来像を含め、駅周辺のまちづくりの考え方は。

答 市長 愛甲石田駅周辺は、厚木市都市マスタープランにおいて都市中心拠点である本厚木駅への交通集中を緩和する役割を担い、商業、業務などの都市機能を補完する副都市中心拠点として位置付けている。今後も周辺住民はもとより、鉄道事業者や企業、さらに国、神奈川県や伊勢原市との連携を密にし、土地の高度利用や都市機能の拡充を図っていきたい。

●高規格幹線道路の状況
問 広域的に見た場合、高規格幹線道路にどのような動きがあるか。

答 国県道調整担当部長 横浜湘南道路、高速横浜環状南線および高速横浜環状北西線の工事が進められ、新たな高速道路の幹線整備とともに東名高速道路を活用した横浜湾岸地域への新たなアクセス道路が実現する。

観光振興事業

問 近年の観光を取り巻く環境の変化に的確に対応していく必要があると感じているが、平成30年度の具体的な施策は。

答 市長 宮ヶ瀬地域から本市への誘客プロジェクトを進めるとともに、外国人のための受け入れ環境の整備と、飯山地域の環境整備に向けた整備構想の策定などに取り組む。

本格的な少子高齢社会への対応は

日本共産党 釘丸 久子 議員



問 医療・介護職の人材確保の展望は。

答 市長 大変困難な状況にあると認識している。さまざまな人材確保支援事業を行うとともに、疾病および介護予防事業などを推進している。

問 厚木市人口ビジョンでは、2040年に90歳以上の女性は5629

人と推定しているが、課題や対策は。

答 政策部長 医療や介護の需要増加への対応と、生活に必要な足となる交通手段の確保などが課題と考えるため、地域包括ケア社会の実現に向け一層の取り組みを行う。

問 産業別労働力の今後の過不足状況を予測

厚木市立病院での看護職員確保の工夫は

日本共産党 栗山 香代子 議員



問 常勤の看護職員だけでなく、非常勤職員の確保も重要となるが、非常勤職員への福利厚生の配慮はどうか。

答 病院事業局長 今年度から厚木市勤労者福祉サービスセンターの福祉共済制度を利用するなど、福利厚生の内容の充実を図っている。

問 病院の収益向上に向けた取り組みとして、総合入院体制加算を取得できないか。

答 病院事業局長 取得するには急性期の病院であることをはじめ、救急対応ができていないなど、15項目の内容がある。そのうちの14項目はクリアできている。ハードルが高い内容があるが、収益を上げていくためにも、今後も取り組んでいく。



生活保護の基準見直しによる影響

問 今回5%の引き下げになるが、小・中学校就学援助制度への影響はどうか。

答 学校教育部長 本市においては、平成30年度についてはこれまでどおりの基準で認定を行っている。

産前・産後サポート事業の課題は何か

公明党 田上 祥子 議員



問 妊産婦、乳幼児への保健対策から子育て支援まで、切れ目なくつなげるため、子育て関連部門と連携する必要があるのでは。

答 総務部長 各種母子保健事業については、児童虐待の発見・防止の重要な場の一つと考えている。妊娠期からの切れ目のない支援を行うためにも、利用者側に立った業務の流れとして、母子保健事業や児童虐待対策などのさらなる連携強化を図られるよう、現在、仮称ではあるが、子ども家庭総合支援拠点整備プロジェクトを行っている。

糸満市との友好都市締結

問 新たな友好都市となる糸満市との交流に、今後、期待することは何か。

答 市長 糸満市は、本市や他の国内友好都市とは異なる歴史や風土を有していることから、物産をはじめスポーツ、文化、教育など幅広い分野において、これまでにな

森の里東土地区画整理事業区域内の工事費用は

あつぎの会 井上 敏夫 議員



問 厚木環状3号線は事業区域内を通る計画だが、道路の区域界を外れた部分の工事費用について、どう考えているか。

答 道路部長 道路の有効幅員は都市計画決定しており、その中で収めるが、切り土などの工事でのり面となり、収まりきらない部分は、市の道路事業で対応する。

問 今後、土地区画整理組合が管理する通路を、資材の搬入搬出などに使用することについて、状況はどうか。

答 市街地整備担当部長 土地区画整理組合設立前に、換地設計や実施設計を先行実施すること、権利者への具体的な情報提供ができ、早期の工事着工が可能となる。

1面から続く

議員提出議案

可決した議員提出議案は、国会や関係行政庁に意見書を提出することを求める1件です。

「神奈川県最低賃金改定等に関する意見書」は、経済の好循環の実現のため、早期に神奈川県最低賃金の諮問・改定を行うことや、最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援を強化することなどを要望するものです(意見書は4面参照)。

会派の解散

改革あつぎから会派解散届が提出され、4月30日付で会派が解散されました。

会派の異動

新政あつぎから会派異動届が提出され、5月1日付で井上武議員が会派に加わり、会派の人数が6人になりました。

会議録の閲覧を！

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧になれます。

庁内の文書改ざん 防止についての対応は

あつぎの会 奈良 握議員



問 庁内の取り組みは。

答 総務部長 行政文書取扱規程などにより、適切に文書管理を行っている。庁内で導入している文書管理システムは、

決裁責任者の決裁後は文書の修正ができないようになっているほか、外部から改ざんされない仕組みになっている。

問 文書管理システムの電子決裁の件数および紙の保存文書の件数は。

答 総務部長 平成29年度に電子決裁を行った件数は約39万件である。紙の行政文書については、30年3月現在、本庁舎と民間倉庫に約9千箱を保管している。

消防団の充実に 向けた取り組みは

新政あつぎ 井上 武議員



問 本市の消防団について現状認識と課題は。

答 市長 市民の安心安全を守るため、なりわいの傍らで、昼夜を問わず献身的に災害活動に当たっていただいている。消防用ホースや防火服などの更新整備を計画的に進めており、今後も装備品や処遇の改善など、活動環境のさらなる充実を図り、地域防災力の強化に取り組んでいきたい。

問 消防団の出動手当

来を見据え、論議を重ねた結果である。地下道を通りやすくすることなどが、今後のまちづくりの課題の一つと捉えている。

問 庁舎建設の適地について、全体的な絵の中で考えているか。

答 政策部長 超高齢社会を見据えたまちづくりの中で、交通便利性の高い中心市街地へ立地する必要がありと考えており、現状地と中町第2地区で検討している。

歩行者が本厚木駅周辺をどうしたら安全に回遊できるか、人口推計など将来を見据え、論議を重ねた結果である。地下道を通りやすくすることなどが、今後のまちづくりの課題の一つと捉えている。

ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報がご覧いただけます。

- ◆インターネット議会中継 本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など) 委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他 議員名簿、議会データ、一般質問通告一覧、子どもページ、議長交際費など。



●新庁舎整備

問 新庁舎を中心市街地活性化の核とすること

答 政策部長 庁舎にはさまざまな方がいる。重要な目的で来庁される。指摘のとおり、庁舎を行政手続の場としてだけでなく、中心市街地のさらなる活性化につながるような施設とする考え方は、重要と考えている。

答 消防長 県内では紹介のあった2市を含む11市町で実施している。本市も県内の状況や消防団の意向などを勘案しながら、活動の実態に応じた適切な支給がなされるよう、処遇改善の一つとして検討していきたい。

本市の交通政策について どのように考えるか

あつぎみらい 沼田 幸一議員



問 コミュニティ交通検証後の実証運行をどう考えるか。

答 市長 集約型都市構造の実現にはコンパクトな移動手段が必要であり、実証運行を通じ、利便性の高い移動システムの構築に取り組んでいく。

問 (仮称) あつぎ郷土資料館へのアクセスをどう考えるか。

答 社会教育部長 魅力ある新施設とすること

インフルエンザ治療証明書の 受け渡しを縮小できないか

あつぎの会 望月 真実議員



問 インフルエンザに

答 産業振興部長 そうですね、あつぎのロゴを入れ、ごみ回収に取り組んではどうか。

問 現状と課題は。

答 市長 オープン時から、商業施設の運営やテナントの管理、契約などのプロパティマネジメント業務を民間企業に委託している。高度なノウハウが必要なテナントの誘致や運営管理などの業務において、豊富な実績のある企業に委託することにより、中心市街地の活性化およびまちの回遊性に大きな効果があつたものと認識している。

答 市長 本市では、あつぎスマート・ワーク宣言を行い、働き方改革を推進している。市長、副市長、教育長、部長級の宣言と課長級の宣言に加え、新たに係長職以下の職員の宣言も実施した。これら三部作を宣言している自治体は全国初であるが、この先進事例をどうアピールしていくのか。

答 教育長 手続きの簡略化を研究していく。

●ごみゼロ、Tシャツでの啓発

問 鮎まつりで職員などが着用するTシャツに「ごみゼロ大作戦」など

た活動が始まっている。問 障がい者への理解の促進にどう取り組むか。

答 市長 全ての人が共に生きるまちづくりを進める上で最も重要なことだと認識しており、これまでの啓発活動に加え、小中学生を対象とした啓発チラシの配布など、新たな事業にも取り組む。

●新庁舎建設

問 用地選定について議論は尽くされているか。

答 市長 庁舎建設等検討委員会のほか、市民アンケートや自治会連絡協議会との意見交換、学生を対象としたワークショップなど、多くの市民の意見を伺い進めている。

アミューあつぎ商業施設の 委託の現状と課題は

あつぎみらい 松田 則康議員



問 現状と課題は。

答 市長 オープン時から、商業施設の運営やテナントの管理、契約などのプロパティマネジメント業務を民間企業に委託している。高度なノウハウが必要なテナントの誘致や運営管理などの業務において、豊富な実績のある企業に委託することにより、中心市街地の活性化およびまちの回遊性に大きな効果があつたものと認識している。

答 市長 本市では、あつぎスマート・ワーク宣言を行い、働き方改革を推進している。市長、副市長、教育長、部長級の宣言と課長級の宣言に加え、新たに係長職以下の職員の宣言も実施した。これら三部作を宣言している自治体は全国初であるが、この先進事例をどうアピールしていくのか。

答 教育長 手続きの簡略化を研究していく。

●ごみゼロ、Tシャツでの啓発

問 鮎まつりで職員などが着用するTシャツに「ごみゼロ大作戦」など

広報広聴 特別委員会から

厚木市議会では、年に2回、常任委員会とともに議会報告会を行っています。市民の皆さまからは「防犯」のテーマを今後も続けてほしい、厚木市障害者福祉事業所連絡会の皆さまからは日常の活動への理解をいただきたい、また、学校司書の皆さまからは公共図書館と学校図書館、学校間同士のつながりをもっとつくりたいなど、さまざまな課題をいただきました。さらに、大学生を含めた観光関係の皆さまとは、ワークショップ形式で実施し、活発な意見交換ができました。

現場の声を直接伺い、市政に生かしていくことは、重要なことだと思っております。今後も、新たな形を模索しながら、常に改革する議会を目指してまいります。(山崎 由枝)

一般質問

主な質問と答弁



57施設に指定管理者制度を導入するとともに、昨年度から、より適正な施設管理の確保に向けて民間有識者による客観的な評価制度を取り入れるなど、さらなる充実を図っている。こうしたことにより、公の施設の適切なかつ効率的な運営と市民サービスの向上が図られているものと考えている。

●子ども科学館および中央図書館の委託業務

問 現状と課題は。

答 市長 子ども科学館は、プラネタリウムの番組作成や関連機器の保守点検を、中央図書館は窓口業務を委託するなど、各施設で効率化を図っている。今後もサービスの充実を努める。

●指定管理者制度

問 実績とメリットは。

答 市長 本市では、スポーツ施設や文化会館、荻野運動公園などの

準中型免許の新設による 消防団車両への影響は

新政あつぎ 新井 啓司 議員



問 昨年3月、準中型免許が新設され、普通免許では車両総重量3・5ト以上の運転ができなくなったが、本市の消防団車両の状況は。

答 消防長 阪神・淡路大震災では建物倒壊や道路の寸断などにより、

本厚木駅前障がい者用 乗降場の現状は

あつぎみらい 神子 雅人 議員



問 本厚木駅前には乗降者数が多い中で、障がい者用乗降場が南口に1台分しかない。東口方面にあれば、駅のエレベーターまでスロープもなく、フラットに入れるが、整備する考えは。

答 道路部長 現在東口には2台分のタクシー乗降場があるが、関係団体との交渉などから障がい者用乗降場1台分とタクシー乗降場3台分を今年度中に整備するよう準備を進めている。



2020年の完成を目指し、工事が進められている本厚木駅南口ロータリー

年3月初旬の運用開始を目指し、出力する帳票やシステム機能の構築準備を進めるとともに、現在のシステムからのデータ移管を行っている。

問 学校現場からの意見収集や研修会の開催は。

答 教育総務部長 関係各課での学校との調整や、職務分野ごとのワーキンググループ会議などを開催して、意見を聞くとともに、各学校での操作方法の研修も予定して

問 南口の障がい者用乗降場から駅を利用するまでの動線は。

答 市街地整備担当部長 現在、南口の西側にあるが、工事完成後は、南口を出てすぐの南側に乗降場を設ける計画で、東口のエレベーターへは、現在より近くなる。

●本厚木駅南口の工事期間中の交通安全対策

問 通勤通学などの歩行者や一般車両への注意喚起はどうなっているか。

答 市街地整備担当部長 交通誘導員を配置するほか、交通安全課とも連携し、注意喚起の看板を設置するなどの安全対策に努めている。

問 工事の関係で、ロータリーは3分の2くらいになったが、ロータリーでのバス、タクシーの待機に問題はないか。

答 市街地整備担当部長 従来と同じ台数分を確保し、スムーズに運行できるよう対策している。

いる。

●急傾斜地安全対策

問 新規事業の急傾斜地安全対策工事補助金の概要と周知方法は。

答 市長室長 県が行う工事から外れるものを対象に、工事費の3分の1以内、補助上限300万円としている。広報、チラシおよび市ホームページのほか、自治会長、市内の建設業や造園業協会に周知していく。

森林環境税の導入に 対する見解は

あつぎみらい 越智 一久 議員



問 導入の目的と各種施策などの考え方は。

答 鳥井理事 民有林の所有者の経営意欲の低下や、担い手不足などが問題となっており、森林環境税は、所有者が整備を行うことが困難な場合、市町村が整備・管理

森林の多面的機能の保全が期待される。なお、森林の諸問題の早期解決のため、平成31年度から森林環境譲与税が導入される。

●不要な水路敷の活用

問 農地の宅地化により不要となった水路敷の今後の維持管理は。

答 鳥井理事 雨水の排水路として供用している。未利用水路は、関係部署と連携して利用方法を調査・研究する。

厚木市長の在任の期数に 関する条例の影響は

あつぎの会 名切 文梨 議員



問 条例が適用される時期が迫ってきたが、条例順守について見解は。

答 市長 平成19年12月に制定した本条例は、自粛にはなっているが、その精神は大切であり、清新で活力ある市政にしてい

制定当時と特に変わっているものではない。

問 現行法との整合性を保ち、法律に抵触しない形で条例にするため多

選自粛としたが、法的担保ができれば禁止規定に改正するとの考えを当時明らかにしている。その

●アユの中間育成施設

問 整備の進捗状況は。

答 鳥井理事 本年4月24日、水産庁の補助事業である水産業強化支援事業への交付が決定し、事業実施主体である神奈川県内水面漁業協同組合連合会が、本年度内の施設完成に向け、手続きを進めている。当該施設は、天然に近い性質を持つ相模湾産のアユを、年間約8ト放流することができ

るため、アユ資源の増大や漁獲量の増加、新規漁業者の確保および遊漁者の増加が期待される。

議会用語

解説



■付託

本会議の議決を要する事件について、詳しい検討を加えるため、所管の常任委員会などに審査を委託すること。

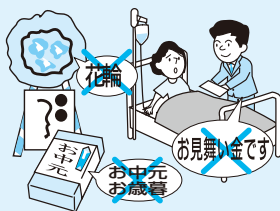
■請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当で法令上、行財政上実現性もあるような場合には、議会として賛同することになり、議会の意思決定は、請願・陳情を採択する方法によりなされることになります。また、願意は十分に理解できても、市の財政事情などから、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることから、これを趣旨採択と呼んでいます。

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病氣見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ



考えに変わりはないか。

答 市長 当時も議論になった部分であるが、弊害をなくすための姿勢には全く変わりがない。

問 多選による弊害についての認識に変わりは

ないか。

答 市長 変わりはないが、これは市民が決め

●受動喫煙対策

問 条例では、路上喫煙禁止区域以外の区域に

おいて、歩行中や運転中

に喫煙しないよう努める

とされているが、この点

についてどの程度市民に

周知されているか。

答 環境農政部長 禁

一般質問

主な質問と答弁



止区域内での喫煙者は大幅に減少しており、多くの市民に歩行喫煙の危険性が理解されており、禁止区域以外でも、同様な行為に危険性があることは、ある程度浸透しているものと判断している。



委員会の 審査

条例・補正予算など

—主な質疑と答弁—

条例の改正や補正予算などの議案、陳情について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○厚木市職員定数条例の一部を改正する条例について

問 特別救助隊から高度救助隊に格上げすることと生まれるメリットは。

答 高度救助隊は、人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員5人以上で編成する。今後、大規模な地震などが発生した際、より迅速で的確な救助活動を行うことができる。

問 消防年報における基準消防力の消防職員との関係はどうか。

答 基準消防力の消防職員は、国が示す消防力の整備指針に基づいて算出した本市の水準を目指す数値であり、各市町村の消防を取り巻く環境や出動状況に鑑み定めているため、乖離が生じている。

○工事請負契約の変更に
ついて

問 議案第50号の公共下水道厚木排水区雨水貯

だが、拠点機能形成車とはどのようなものか。また、費用は。

答 被災地での長期かつ過酷な環境下で、消防隊員の応援活動を支援するため、後方支援資機材を積載した車両である。費用は、約1億2千万円だが、総務省消防庁において、当該車両の無償使用での配備が採択された。

問 消防団消防車両維持管理事業について、ホース25本とのことだが、消防団車両52台にどのように配分するのか。

答 住宅が密集している地域を管轄する分団へ優先的に配分したい。

問 地域防災組織育成補助金について、どのようなものに使う予定か。

答 大型テント6張り、投光器4基、発電機2基、トイレ3基の申請を受け付けている。

市民福祉

○厚木市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

問 市民および行政が受ける影響は。

答 条例改正により、今年度新たに対象となる被保険者は1人である。また、行政が受ける影響は、新たに対象となる被保険者1人分の保険料が増えることである。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第1号)

問 総務費雑入の助成

金について、申請から採択までの流れは。

答 コミュニティ推進

事業助成金は、自治総合センターからの助成、長寿社会づくりソフト事業交付金は、地域活性化センターからの助成で、それぞれから受けている。採択までの手順として、コミュニティ推進事業助成金の場合、8月下旬に要綱が届き、各部署からの推薦事業を取りまとめ、県に提出する。その後、県から自治総合センターに具申され、翌年3月に採択される。長寿社会づくりソフト事業交付金の助成についても同様の手順で、3月に採択される。

問 助成金は、それぞれの事業でどこに充当されるのか。

答 コミュニティ推進事業助成金については、自治会館建設の補助金に充当している。長寿社会づくりソフト事業交付金

については、新たに地域イベントの助成に充当している。また、国際交流支援事業助成金については、アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会の開催事業費に充当している。

問 支出の部分について、地域イベント助成事業補助金が厚木市文化会館40周年記念事業に充てられるとのことだが、事業費の総計は。

答 事業費については、実行委員会がまだ発足されていないため、見積もりはしていない。補正予算が可決し、実行委員会の発足後、具体的に進める予定である。

環境教育

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第1号)

【所管科目】

問 上荻野小学校のり面改修工事について、工法と工事期間は。

答 経済性や施工性を考慮し、吹き付けのり枠工法を予定している。7月下旬から来年1月下旬までの6カ月で設計委託を行い、その後工事を発注し、来年の2月下旬から9月下旬までの7カ月間工事を予定している。

問 児童の安全確保についての配慮は。

答 工事施工に当たっては、学校と十分協議を行い、児童や学校利用者の安全を第一に考える。工事車両の出入りの時間帯や仮囲いなどの安全対策、また、春休みや夏休みの休業期間を活用するなど、学校運営の妨げにならないよう考えていきたい。

問 上荻野小学校には、東側と北側に広い斜面があるが、全ての工事の対象となるのか。

答 中心となるのは、東側の斜面で約703平方メートルにわたる。工法と工事期間は、

いて、現状は。

答 これまでに取り組んできた中学校区において、家庭学習の時間を増やす取り組みを小中一貫で行うことが効果を上げているため、今回の陸合中学校と三田小学校においても、そうした取り組みを行う計画である。

問 郷土芸能コミュニティ事業補助金について、採択を受けたのは飯山白龍太鼓とのことだが、他の文化関係団体から希望はあったのか。

答 今回は飯山白龍太鼓のみであったが、過年度においても継続的に市内の団体に補助金が出ている経過がある。

問 一度補助を受けたら続けて希望できないといった制約はあるか。

答 そのような制限はないが、新しい団体が優先される傾向であり、バランス上、2年連続での採択は難しいのが現状である。

都市経済

○神奈川県最低賃金改定等に関する意見書を国に提出することを求める陳情

問 神奈川県で働き方改革推進支援センターを設けるとのことだが、詳しい情報はるか。

答 詳しい情報はないが、各都道府県で既に設置されているところもあり、神奈川県が最後になっていることは把握している。今後、早急に設置していくと聞いている。

【委員の意見】

・労働生産性向上や賃金の引き上げは国の経済政策でもあり、取り上げていく必要があると認識しているため、賛成したい。
・最低賃金の引き上げは、最低水準の生活ができることにつながる。企業に對しても、支援を強化していくとの項目も入っているため、賛成したい。

委員会の所管事項調査

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。このほど実施した4常任委員会の調査は次のとおりです。

◆総務企画常任委員会 5月8・9日、オープンデータ「オープンデータアプリコンテスト宇部」について。本庁舎建設について(山口県宇部市)

◆市民福祉常任委員会 5月8・9日、共働き子育て支援事業について「秋田市の保育料無償化事業」(秋田県秋田市)



◆環境教育常任委員会

5月10・11日、白山市学校図書館支援センターについて(石川県白山市)。学びの杜ののいちカレードについて(石川県野々市市)



◆都市経済常任委員会 5月8・9日、第3期鹿児島市観光未来戦略について(鹿児島県鹿児島市)

友好都市および 友好都市 締結予定市の訪問

市議会では、友好都市の韓国軍浦市および友好都市締結予定市の沖縄県糸満市に訪問団を派遣し友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

◆厚木市議会友好都市交流訪問団

4月27日～29日、軍浦市議会議長・軍浦市長表敬訪問、軍浦ツツジまつりへの参加など。

◆厚木市議会糸満市訪問団

5月15日～17日、糸満市議会議長・糸満市長表敬訪問、友好都市覚書締結式典への出席など。

本会議の審議結果

第2回会議（6月定例会議）提出案件		各党派などの賛否 ○…賛成、●…反対						議決結果
		みらい	新政	公明党	あつぎ	共産党	無党派	
議案第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第46・47号	人権擁護委員の候補者の推薦について（2件）	○	○	○	○	○	○	同意
議案第48号	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	厚木市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50・51号	工事請負契約の変更について（2件）	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	平成30年度厚木市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	厚木市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	「所得税法第56条を見直すことを求める意見書」を国に提出することを求める請願	●	○●	●	○●	○	●	不採択
陳情第12号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
陳情第13号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	●	○	採択
陳情第14号	介護保険改定による厚木市の介護事業者に対する監督強化を求める陳情	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第15号	あらゆる差別を撤廃する条例の制定を求める陳情	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第16号	「厚木市長の在任の期数に関する条例」の実施を求める陳情	○	●	○	○	●	●	趣旨採択
議員提出議案第3号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書について	○	○	○	○	●	○	可決

◎「陳情第12号 地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情」および「陳情第16号『厚木市長の在任の期数に関する条例』の実施を求める陳情」の2件は、所管の委員会での審査結果が「趣旨採択」であったことから、趣旨採択することについて本会議で採決した結果を掲載しています。

◎平成30年6月22日議決時の党派構成など

※議長・・・難波達哉（議長は採決に加わりません）、副議長・・・遠藤浩一

※党派等表記、正式名称、議員数、所属議員（____は代表者）

みらい…あつぎみらい（9）：神子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ（6）：石井芳隆、井上武、高橋知己、田口孝男、新川勉（請願第1号賛成）、新井啓司 公明党…公明党（5）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 あつぎ…あつぎの会（5）：奈良握（請願第1号賛成）、望月真実、名切文梨（請願第1号賛成）、山本智子（請願第1号賛成）、井上敏夫 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 無党派…無党派（1）：高田浩

第12回 議会報告会

市民と議会の意見交換会を開催しました

第12回議会報告会は5月12・18・19・25日の4日間、厚木南公民館などで開催し、合計で62人の方に参加していただきました。

今回の報告会では、2月定例会議で議案となった平成30年度予算の審議概要などを報告したほか、会場となった地域に関する話題や各団体が抱えている課題などをテーマに参加者と議員との間で活発に意見が交わされました。また、5月19日に開催した報告会では、初めてワークショップ形式で実施し、各グループとも詳細にわたり積極的な議論が展開されていました。

各会場でいただきましたご意見などは、今後の議会運営の参考とさせていただきます。



12日 市民の皆さん



18日 厚木市障害者福祉事業所連絡会



19日 観光関係の皆さん



25日 厚木市図書館協議会および学校司書

第3回あつぎ子ども議会

中学生議会を開催

厚木市内在住の中学生が子ども議員となり、「厚木市に対する希望や期待について」のテーマに沿って、市長などに質問をする子ども議会を開催します。

■8月22日(水)13時から

厚木市議場

(厚木市役所本庁舎5階)

※傍聴席に限りがあるため、傍聴は参加生徒の保護者や関係者などを優先させていただきます。

※インターネットでの生中継を実施します。インターネット中継は、ホームページからご覧になれます。

第3回会議の開催予定日

●本会議

8月7日(火) …常任委員の選任など

「かりゆし議会」を開催

厚木市議会では、8月4日に予定されている沖縄県糸満市との友好都市締結をお祝いするとともに、今後の交流促進につなげるため、第3回会議におきまして「かりゆしウェア」を着用し、本会議を行います。

※かりゆし…沖縄の方言で「めでたいこと」や「縁起の良いこと」を意味する。

※かりゆしウェア…沖縄県内で製造され、沖縄の文化や自然などをモチーフとしたデザインが特徴。沖縄県内では、夏を快適に過ごすための軽装として定着している。



第4回会議(9月定例会議)の開催予定日

●本会議

8月30日(木) …議案等質疑 9月5日(水)～7日(金) …一般質問

10月5日(金) …委員長報告・討論・採決

●常任委員会

総務企画…①9月12日(水) ②25日(火) 市民福祉…①9月13日(木) ②26日(水)

環境教育…①9月14日(金) ②27日(木) 都市経済…①9月18日(火) ②28日(金)

※日程のうち、①は所管の議案審査(決算を除く)、②は所管の決算議案審査です。

◆特別委員会(本会議など終了後)

広報広聴……………10月5日(金)

会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。